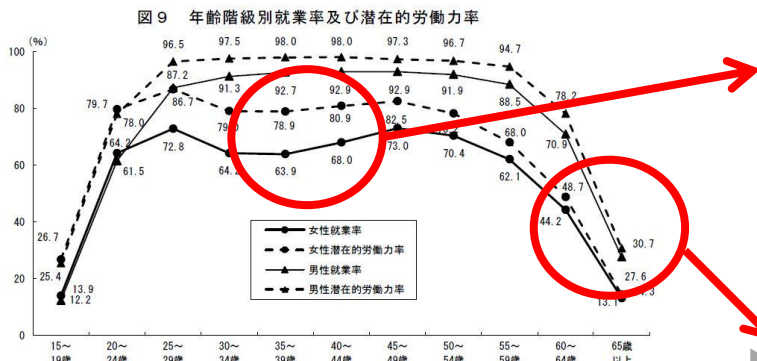




1 現状:「やりがい」をもって持続的に働く場が欲しい

▶「出産で離職」6割、「仕事満足度」世界最下位。若者は安定志向。



資料出所: 総務省統計局「労働力調査」(平成23年)、「労働力調査(詳細集計)」(平成23年)



主婦

働きたいけど、育児と両立できない

- ・第一子の出産を機に退職する女性は約6割、高スキルワーカーの潜在化が社会問題に。
- ・神戸市は伝統的に専業主婦率が高い。



シニア

働きたいけど、働く場がない

- ・60代の半数以上が働く意思をもつが、約3割が無職。
- ・特に60代後半では働きたい人の約半数が無職に。



会社員

仕事にやりがいを感じない

- ・就職後3年の離職は約3割。中小企業はさらに増。



学生

お金がない。安定した会社がいい

- ・約7割の大学生がバイトをしている。
- ・約5割が奨学金を受給、返済額は平均320万強。
- ・兵庫県の4年制大学卒業後、県内就職は約3割。

▶ 会社員対象の調査

- ☑ 仕事満足度調査: 35か国中35位 (2016, Indeed)
- ☑ 仕事のやりがい調査: 26か国中26位 (2014, LinkedIn)

【就職の条件】 2017年卒マイナビ大学生就職意識調査

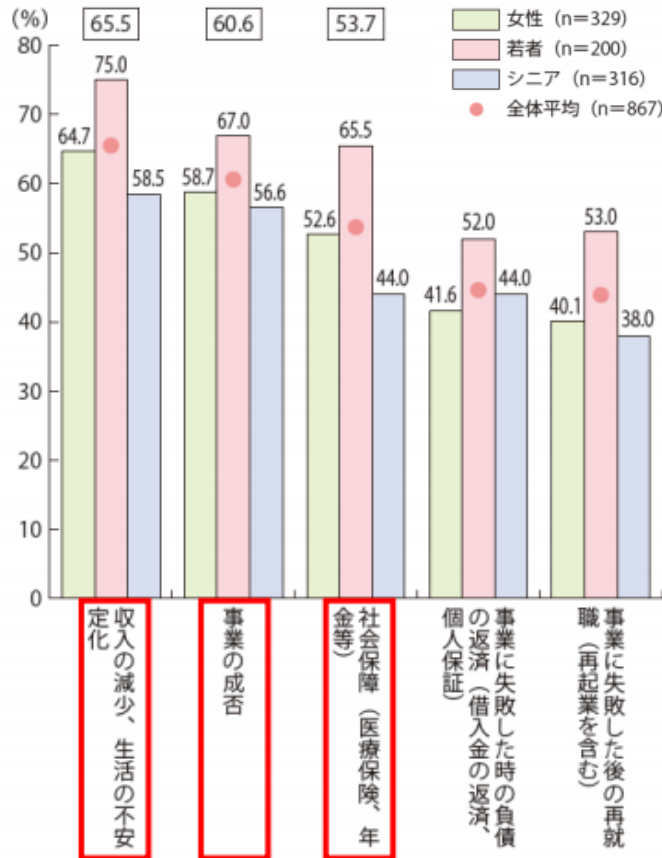
1. やりたいことができる会社 38.8% ↓ (過去最低)
2. 安定している会社 28.7% ↑ (過去最高)
3. 社風が良い会社 17.4% → (横ばい)
4. 働きがいのある会社 16.0% ↓ (過去最低)
5. 勤務制度や福利厚生の良い会社 13.4% ↑
6. 給料の良い会社 12.8% ↑ (過去最高)

起業へ



2 課題と分析:「起業」に立ちはだかる壁

▶ 起業時に感じるのは「お金」と「生活」への不安。とくに、若者。



【起業家が起業時に感じる不安】 中小企業白書2014

1. 収入の減少、生活の不安定化
2. 事業の成否
3. 社会保障（医療保険、年金等）
4. 事業に失敗したときの負債の返済（借入金の返済、個人保証）
5. 事業に失敗した後の再就職（再起業を含む）

- ▶ 起業時に感じる不安の大きさは、「若者」→「女性」→「シニア」の順。若者が、「起業」に対して、突出して不安を感じている。
- ▶ 起業をするのは、「お金がかかり」「生活が不安定になり」「失敗するとダメージが大きく、再度のチャンスがない」と考えられている。



- ①「お金がかからず」
- ②「現在の生活を維持したままでスタートでき」
- ③「失敗してもやりなおすことのできる」

なめらかな **事業づくり** が実現できる環境が必要。



3 提案：地域における「事業づくり」支援

▶ **柔軟な事業づくり支援、失敗できる環境整備で、確実な起業を創出。**

✕ **従来のアメリカ型モデル：**（ビジネスコンテストを数か月準備し、投資会社から資金と経営支援を受けて上場向きのスタートアップを急ピッチで進め、上場またはバイアウトによるエグジットを目指す）

→事業開始まで時間がかかり、個人の感覚からすると大型の資金調達を必要とする。一方、「1000に3つのリターンがあれば良い」という投資家の意向が強く反映されるため、多数の起業家が「失敗」に終わり、持続性を欠く。

○ **コミュニティを活かした地域型モデル：**（プロジェクト単位で少額の資金と協力者を募り、現状の生活を維持したまま小さくスタート、反応を見ながら事業を進め、成功の見込みが立ったら起業（法人化））

→準備期間が短く、資金調達の負担も小さいため、個人が安心してスタートできる。また、事業が成功したら法人化とするため、失敗しても個人レベルで収束可能。地域の支援があれば、その経験を、再起業またや就職等に活かすこともできる。なおバイアウトを前提としないため、地域を拠点とした持続的事業の増加も見込まれる。

未来なりわいカンパニーの取り組み

【未来なりわいオーディション】

学生や主婦に事業づくりを学ぶ機会と、地域の多様なステークホルダーからの支援を受けられる場を提供。最年少参加者は7歳。

【ITによる信頼と与信の地域循環研究会】

持続的な地域社会成立のため、なめらかな事業体の成立を促進する仕組みがブロックチェーン（特にスマートコントラクト）を中核技術として構築可能か、IT・金融・経営等、多様な専門家を交えて研究中。

4 潮流:「事業」が企業の枠を超え、自律分散型に

▶ 副業・フリーランス・ポートフォリオワーカー等、多様な形態も広がる。

1 副業

企業による副業許可の背景には、視野の広い人材を育成するという狙いもある。
代表例として、サイボウズ、ロート製薬、リクルート、ヤフー等。
神戸市も2017年4月に職員の副業を許可。

2 フリーランス

フリーランス(副業、複業、自由業、自営業)は近年増加中で、現在1千万人超、労働人口の17%、経済規模18.5兆円といわれる。

3 ポートフォリオワーカー

資産ポートフォリオで分散投資をするかのごとく、働き口と収入源を複数持つ働き方をする個人。ベストセラー『LIFE SHIFT』で話題に。



プロジェクトベースの事業体を柔軟に
成立させるプラットフォームの必要性

